



## 無電柱化の推進

■無電柱化は、「防災」、「安全・円滑な交通確保」、「景観形成・観光振興」の観点から推進

### > 防災

緊急輸送道路や避難所へのアクセス道、避難路等災害の被害の拡大の防止を図るために必要な道路の無電柱化を推進



平成30年 台風21号による大阪府泉南市の被災状況

### > 安全・円滑な交通確保

歩行者が路側帯内にある電柱を避けて車道にはみ出すような道路等安全かつ円滑な交通の確保のために必要な無電柱化を推進



整備前



整備後

徳島県徳島市蔵本町(国道192号)

### > 景観形成・観光振興

地域の特性を活かした良好な景観形成や観光振興に必要な地区の無電柱化を推進



整備前

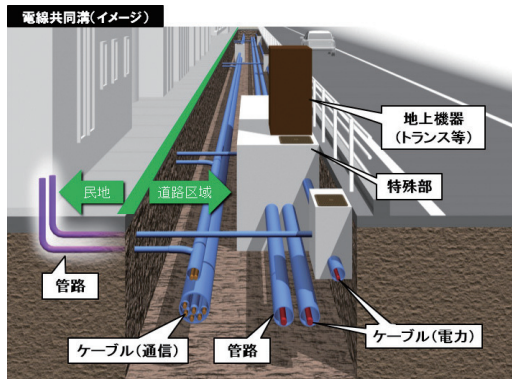


整備後

香川県仲多度郡琴平町(県道琴平停車場琴公園線)

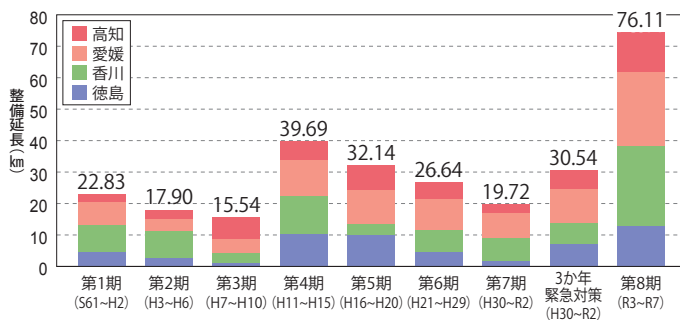
### ■ 電線共同溝方式

道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する無電柱化の手法であり、沿道の各戸へは地下から電力線や通信線等を引き込む仕組み



電線共同溝(イメージ)

### ■ 四国における電線類地中化延長の推移





### ■ 無電柱化の推進に関する施策

#### ○ 低コスト手法の普及

- 「道路の無電柱化低コスト手法導入の手引き」を作成し、自治体へ配付(平成31年3月発出)
- 各整備局の電線共同溝技術マニュアル改正

#### ○ 包括発注による無電柱化のスピードアップの試行

- 電線共同溝事業の事業期間は平均7年と事業期間が長いことが課題
- 設計、支障移転、本体工事、引き込み管工事、事業調整を包括して発注すること等により、同時施工や調整の円滑化を図り、事業期間の短縮・発注者の負担を軽減

	管路の浅層埋設 (実用化済)	管路の浅層埋設 (実用化済)	直接埋設 (国交省等において実証実験を実施)	角型多条電線管[FEP管] (実用化済)
整備手法	現行より浅い位置に埋設  浅層埋設の事例	小型化したボックス内にケーブルを埋設  小型ボックスの事例	ケーブルを地中に直接埋設  直接埋設の事例(京都)	安価で弾性がある角型多条電線管を地下に埋設  東京都無電柱化計画より引用 FEP管のイメージ
取組状況	・浅層埋設基準を緩和 (平成28年4月施行)	・モデル施工(平成28年度~) ・電力ケーブルと通信ケーブルの分離距離基準を改定 (平成28年9月施行)	・直接埋設方式導入に向けた課題のとりまとめ(平成27年12月) ・直接埋設用ケーブル調査、舗装への影響調査(平成28年度) ・実証実験を実施(平成29~30年度)	